

〈腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術クリニカルパス〉

様

	手術前日 /	手術当日 /	1日目（午前退院） /
観察		体温・脈拍・血圧などを定期的に測定します。 手術後、呼吸に異常がないか、吐き気がないかを観察します。 手術後、創部の観察を行います。	体温・血圧などを定期的に測定します。 創部の観察を行います。
安静	制限はありません。 	手術後3時間はベッド上で安静です。 手術3時間後からトイレ歩行ができます。 最初は看護師と一緒に歩きます。	制限はありません。 
食事	21時以降より絶食となります。 	朝6時以降は飲水ができません。 帰室3時間後から飲水が可能です。 手術が午前中に終了した場合、夕方から普通食（主食：おにぎり）が始まります。	朝から普通食が始まります。 半分以上の摂取を目指しましょう。 
清潔	入浴またはシャワーを浴びることができます。 入院までに爪を切ってきてください。		入浴できます。 
排泄		ベット上安静の間は尿器・ポータブルトイレを使用します。	
診察 処置	入院日にへそをきれいにします。	手術後、病棟に戻り回復室に入ります。 手術後、心電図モニターや、必要時には酸素を使用します。	創部を診察します。
検査			血液検査を行います。
薬物 療法		手術室で点滴を入れます。 （ただし、手術が午後からの場合は朝より点滴を始めます） 点滴は手術当日のみで終了です（手術終了から約8時間後）。 手術6時間後より消炎鎮痛剤の内服があります。痛みが強い場合（常時、強い痛みが続く）はその他の鎮痛剤を使用することがあります。	
説明	入院時、入院中の注意点・手術に関する説明などを看護師が行います。 	看護師より家族へ手術中の待機の仕方について説明があります。 医師より手術後、説明が家族にあります。 	退院後の注意事項について説明があります。 
指導	入院時、治療計画についての説明書が手渡されます。 		必要に応じて、薬剤師から薬の説明があります。 
目標	（手術前）手術の目的・麻酔・術後の経過などがわかる。不安・疑問などを伝えられる。 （手術後）痛み、吐き気、不安、疑問を医療者に伝えられ、苦痛を最小限に抑えることができる。 飲食・安静を守ることができる。		退院後の生活がイメージでき、不安や疑問を医療者に伝えることができる。

- ・わからないことがあれば、遠慮なくお尋ねください。
- ・症状・状態に応じて予定通りにないことがあります。その場合は、その都度説明します。